

## 事務局報告

第25回断層映像研究会は平成8年10月11日(金)、12日(土)、九州大学医学部放射線科学教室増田康治教授による学術大会長主宰で、福岡市アクロス福岡で盛大に開催されました。研究会への参加者は約260名でした。特別講演はProfessor J. David Godwin(Department of Radiology, University of Washington, U.S.A.)によるCT of Airway Diseasesの演題で行なわれました。

例年通り教育講演は8項目について16人、シンポジウムは「機能画像—脳と心—」のテーマに4人の演者が講演されました。一般演題は口演24題、展示19題で、詳細は研究会記録をご覧ください。例年とは異なるプログラムは、初日の症例検討会では九州及びその周辺8大学の出題に、それ以外の大学から読影者が加わり、活発な討論でした。二日目のWork in Progressでは6社の発表がありました。

次に10月11日の世話人会、翌日の総会の報告等を以下に記述します。

1. 平成7年度事業及び決算報告、並びに収支決算書の監査結果(藤井恭一、鈴木謙三両監事による署名捺印済)が世話人会の議を経て総会に報告され、承認されました。(66頁)。
2. 平成9年度(H9.4.1~H10.3.31)の事業及び予算案が所定の手続きを経て総会で承認されました(67頁)。
3. 会誌の発行は宮田伸樹編集委員長よりVol.22No.2, Vol.23No.1が発行されており、年度内にもう1冊の発行を予定していると報告があり、会員の原著、Tomographicsへの投稿を依頼されました。
4. 次期平成9(1997)年度の第26回断層映像研究会学術大会長は東京慈恵会医科大学医学部放射線医学教室 多田信平教授です。会期は平成9年9月5日(金)6日(土)、会場は東京都新宿区西新宿の安田生命ホールが予定されています。

5. 次々次期平成10年度の学術大会長は浜松医科大学放射線医学教室 金子昌生教授に決定されました。
6. 本研究会の将来については、断層映像研究会規約第10条4項に基づき、臨時の委員会として将来計画委員会が設置され、種々検討することになりました。その委員は編集委員会委員に委嘱されました。
7. 平成9年度の事業計画の中で臨時委員会(将来計画委員会)は2回の開催が認められました。
8. 将来計画委員会での検討内容として、世話人会構成員の見直し、研究会規約の改訂、本研究会の将来像についてのアンケート調査等、事務局が中心となって素案づくりが一任されました。
9. 現在の会員数は490名です。
10. 本研究会の年会費(4月1日より翌年3月31日まで)6000円の納入をお願い致します。

●会費納入は下記にお振り込み下さい。

### 郵便振替

口座番号：00840-1-90586

加入者名：断層映像研究会事務局

### 銀行送金の場合

富士銀行浜松支店(331)

普通預金口座：1931432

口座名：断層映像研究会事務局

11. 入会希望の方は電話またはFAXでご連絡下さい。入会申込書をお送り致します。

連絡先：〒431-31 浜松市半田町3600番地

浜松医科大学放射線医学教室内

断層映像研究会事務局 金子昌生

Tel.053-435-2240,2242

Fax.053-435-2240

(事務局 金子昌生)

平成7年度収支決算報告書  
(自平成7年4月1日 至平成8年3月31日)

1. 収入の部			2. 支出の部			
項目	予算額	収入額	項目	予算額	支出額	備考
会費	3,300,000	2,062,000	報償費	360,000	50,000	事務手当
利子	30,000	13,201	賃金	300,000	70,000	名簿編集バイト料
前年度繰越	2,320,032	2,408,875	旅費	450,000	478,864	編集用務
雑収入		3,708	需要費	170,000	133,634	印刷費
			役務費	630,000	349,750	会誌発送通信費等
			使用貸借料	30,000	10,300	
			負担金及び 補助金	3,000,000	2,129,280	研究会 1回 会誌 2冊
			予備費	710,082	57,680	供花代
			次年度繰越		1,208,276	
合計	5,650,082	4,487,784		5,650,082	4,487,784	

## 平成9年度収支予算書

## 1.収入の部

項 目	予 算 額	備 考
1. 会費	2,700,000	¥6,000 X 450人
2. 利子	10,000	
3. 前年度より繰越金	1,290,000	
計	4,000,000	

## 2.支出の部

項 目	予 算 額	備 考
1. 報償金	100,000	事務手当
2. 賃金	100,000	名簿編集バイト料
3. 旅費	800,000	編集委員会等
4. 需要費	200,000	印刷費・事務用品費
5. 役務費	400,000	会誌発送等通信費
6. 使用貸借料	50,000	コピー、会議室等
7. 負担金及び補助金	2,150,000	研究会1回、会誌2冊
8. 予備費	200,000	
計	4,000,000	